

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成18年1月26日(2006.1.26)

【公開番号】特開2003-237264(P2003-237264A)

【公開日】平成15年8月27日(2003.8.27)

【出願番号】特願2002-349027(P2002-349027)

【国際特許分類】

B 4 2 D	15/10	(2006.01)
G 0 6 K	17/00	(2006.01)
G 0 6 T	7/00	(2006.01)
G 0 6 K	19/10	(2006.01)

【F I】

B 4 2 D	15/10	5 0 1 L
B 4 2 D	15/10	5 0 1 K
G 0 6 K	17/00	V
G 0 6 T	7/00	3 0 0 H
G 0 6 K	19/00	S

【手続補正書】

【提出日】平成17年11月28日(2005.11.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項3】請求項1及び2に記載のIDカードを作成するIDカード作成装置であつて、

前記顔写真を入力する画像入力部と、入力画像データを2次元の離散的コサイン変換(DCT)するDCT変換部と、該変換されたデータのDCT符号から2値1次元情報を構成する2値1次元情報構成部とを有することを特徴とするIDカード作成装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

(請求項3)請求項1及び2に記載のIDカードを作成するIDカード作成装置であつて、

前記顔写真を入力する画像入力部と、入力画像データを2次元の離散的コサイン変換(DCT)するDCT変換部と、該変換されたデータのDCT符号から2値1次元情報を構成する2値1次元情報構成部とを有することを特徴とするIDカード作成装置。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

【式2】

[逆変換]

$$f_{mn} = \frac{2}{\sqrt{M \cdot N}} \sum_{u=0}^{M-1} \sum_{v=0}^{N-1} C(u)C(v)F_{uv} \cos\left[\frac{(2m+1)u\pi}{2M}\right] \cos\left[\frac{(2n+1)v\pi}{2N}\right]$$

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 5 9

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 5 9】

【式6】

[sign-Only synthesis]

$$f_{mn} = \frac{2}{\sqrt{M \cdot N}} \sum_{u=0}^{M-1} \sum_{v=0}^{N-1} C(u)C(v)e^{i\theta_{uv}} \cos\left[\frac{(2m+1)u\pi}{2M}\right] \cos\left[\frac{(2n+1)v\pi}{2N}\right]$$

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 7 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 7 4】

抽出部3では、例えば、図11に示すような正・負の符号が決定された画像の抽出において、DCT符号抽出情報提供部4から図12に示すような情報が提供される。図12はDCT符号抽出情報提供部から提供される情報であり、白枠の位置は符号を抽出すべき位置を示し、黒枠の位置は符号を抽出しない位置を示している。このDCT符号抽出情報提供部4から提供された情報を図13に示すように比較することにより、DCT符号抽出情報提供部4から提供された情報に基づいて符号の抽出を行う。抽出は例えば、図13の左上の枠位置から右に向かって各行を順にスキャンすることによって得られた信号を2値1次元情報の列として構成すればよい。尚、スキャンの順序は左枠位置から各行をスキャンする様に限らず、右枠位置から各行をスキャンしてもよいし、各列毎にスキャンを行ってもよいし、本発明の装置のそれぞれによって予め決められた順序によってスキャンすればよく、特に限定されない。